

TOWN TOPICS  
9/12 糟屋地区明るい選挙啓発ポスターコンクールで入賞

令和5年度 糟屋地区明るい選挙啓発ポスターコンクール審査会が、アザレアホール須恵で開催されました。このコンクールには、糟屋地区1市7町の小・中学校から応募があり、須恵町からは3人の児童・生徒が入賞を果たしました。

受賞者および作品は以下のとおりです。

令和5年度 糟屋地区  
明るい選挙啓発ポスターコンクール受賞者  
(敬称略)



小4 金賞受賞 鈴木 琉さんの作品  
小4 銀賞受賞 山本 彦希さんの作品  
中2 銅賞受賞 武富 奏真さんの作品

部門	賞	氏名	学校名
小学4年生の部	金賞	鈴木 琉	須恵第二小学校
小学4年生の部	銀賞	山本 彦希	須恵第二小学校
中学2年生の部	銅賞	武富 奏真	須恵中学校

TOWN TOPICS  
9/26 シルバーセーフティ・ドライビングスクールが  
開催されました

粕屋警察署・粕屋地区交通安全協会・アイルモータースクール博多の森主催による「シルバーセーフティ・ドライビングスクール」が、アイルモータースクール博多の森(志免町)で開催されました。

糟屋地区1市7町の高齢ドライバー(65歳以上)である32人が参加し、学科講習や運転技能講習、飲酒運転撲滅教育用VRによる疑似体験をしました。

高齢運転者による交通事故が増加しています。体調が悪い時や悪天候の時などは、無理に運転するのはやめましょう。



須恵町から講習に参加したドライバー



飲酒運転撲滅教育用VRによる疑似体験

TOWN TOPICS  
10/15 全国大会個人戦 準優勝!

全国道場少年剣道選手権大会(一般財団法人 全日本剣道道場連盟主催)が埼玉県立武道館で開催されました。この大会では、各都道府県の予選を勝ち抜いた中学生男子64人が日本一を懸けて戦いました。須恵剣友会の矢野 昊雅選手(須恵中学校3年生)は福岡県代表として中学生男子の部個人戦に出場し、全国都道府県の代表選手を相手に次々と勝ち上がり、見事準優勝しました。矢野選手は「最後は負けてしまって残念でしたが、次は高校で日本一になります。」と決意を新たにしていました。



準優勝した矢野 昊雅選手(写真左)

- 須恵町町制施行70周年記念式典が開催されました
- 久我記念館
- まちの話題
- 生活支援電子商品券の送付について
- 健康ポイント事業
- 予防接種を受けましょう
- 12月は国民健康保険制度の適用適正化月間です
- 第三者による行為でケガや病気をした場合は届け出を、指定学校変更申請について
- 新入学準備金(就学援助)申請受付について
- 須恵町人事行政の運営などの状況を公表します
- 役場からのインフォメーション
- 若杉クラブだより、俳句・川柳
- わくわくデイサロン、消費生活110番
- 粕屋警察署だより、みんなを守る119、商工会だより
- 情報いろいろ
- 図書館だより
- ハッピーバースデー、乳幼児健診・さんさぼカレンダー
- まちの情報カレンダー 休日当番医、水道指定業者 アザレアホール予定表他
- LINEでごみの情報を受け取れます!

今月の表紙 歴史を紡いだ70年



今月号の表紙は、11月12日(日)に開催された須恵町町制施行70周年記念式典での写真です。式典では、先人たちが紡いできた須恵町の歴史を肌で感じました。このような瞬間に立ち会えて大変光栄でした。

関連ページは2~3ページ

美術センター  
**久我記念館**  
☎ 932-4987

企画展のご案内  
月曜日休館 祝日の場合は翌日休館  
入館無料 開館時間:10時~17時  
(最終入館時間は16時30分)

久我 五千男氏旧蔵の須恵焼(福岡県立美術館所蔵)

11月3日(金)から26日(日)に開催された移動美術館展において展示された、久我 五千男氏旧蔵の須恵焼を紹介します。

この作品は江戸時代に焼かれた須恵焼で、磁器製の蓋と身からなります。大きさは蓋と身の径が約25cm、高さ14cmです。表面には牡丹の花、そして蓋には唐草文が前面に細かく書かれています。

実は、この器には、驚くべき「仕掛け」が施されています。蓋を開けると、今にも飛び出しそうな1頭の虎が描かれています。器の丸みを生かし、背中を丸めた様子です。

虎のお尻の部分に文字が書かれています。「七十八翁秋圃(花押)」とあります。「秋圃」とは、秋月藩の御用絵師である斎藤 秋圃です。「七十八」と書かれていることから秋圃が78歳の時、今から177年前の江戸時代末期、弘化3年(1846年)の作品と分かります。幕末期の須恵焼は福岡藩の殖産興業に取り上げられ、素晴らしい名品が数多く焼かれました。

なぜ、器の内側に虎を描いたのでしょか。蓋を開けたときに驚かせようという注文者、作者のいたずら心を感じます。注文した人は、藩の御用絵師に絵を描かせていることから、相応の身分だったと推測されます。その気持ちも含め、久我 五千男氏はこの作品に美を見出し、コレクションに加えたことでしょう。

虎は時代、世紀を超えて見る人を驚かせ、その躍動感は感動を与え続けています。



福岡県立美術館所蔵の須恵焼



器の内側に描かれた虎